□Good, R.: The geography of the flowering plants. New edition. 1953. (Longmans, Green and Co., London 発行)

本書の第1版は 1947 年に発行されたが，その原稿は 1939 年に完成したものであつた。そこで近年のこの方面における知識の急速な発展をとりいれて全面的に改訂された新版が本年 4 月に出版された。頁数は約 50 頁増えて 452 頁となり，定價も 50 シリングになつている。

全体の構成は第 1 版と同じで，初めに序論があり本文は Part I と Part II に分れている。Part I は記載的な部分で 14 章からなり，第 1 は世界の地理，第 2 は世界における植物区系，第 3 は Some general aspects of plant geography となつて居り，第4から 11 までは科・属・種の分布に関する資料が，或は熱帯的なもの，温帯的なものなど，或は不連続な分布を示すもの，特産のもの，分布の廣いものなど色々な見方からまとめてある。これは分布論の基礎となる重要な資料であり，世界の各地域にわたり，又多数の科属について最近の資料がよく集められている。これは著者の多年にわたる努力と，又世界各国の学者の協力をえて初めてできる仕事である。第 12 章には英国のフローラの歴史と植物分布，第13では特にイングランドの Dorset 郡における植物分布，第 14 は The geological history and past distribution of the flowering plants で氷河期の問題などが解説されている。

Part II は分布の要因について述べてある説明的な部分で 8 章からなり，総論，気候的要因，土壌的要因，植物の分布方法，気候や地理の過去における変化などと植物分布との関係について説明し，終に地球上の植物分布が今日の様になつた経過について要約してある。

この新版では第4の科の分布と第20の過去の地理的変化の 2 章が大きく書き改められている外，細かい点では殆ど各頁にわたり又分布図についても訂正がなされている。巻末の引用文献の数が第1版の 295 から新版では 629 と倍以上に増加している点からも，これらによつて著者が注意深く改訂を行つた事がうかがわれる。附錄として Statistics of the world's land surface と List of discontinuous genera があり，又 Subject, Plant names, Persons and places の三通りの索引がついているのは親切である。

本書は植物地理学全般に関する各方面の最近の知識をよくまとめた好参考書として推奨される許でなく，最新の資料が廣く集められている点で専門家にとつても座右に欠くことのできない書である。　(原　寛)